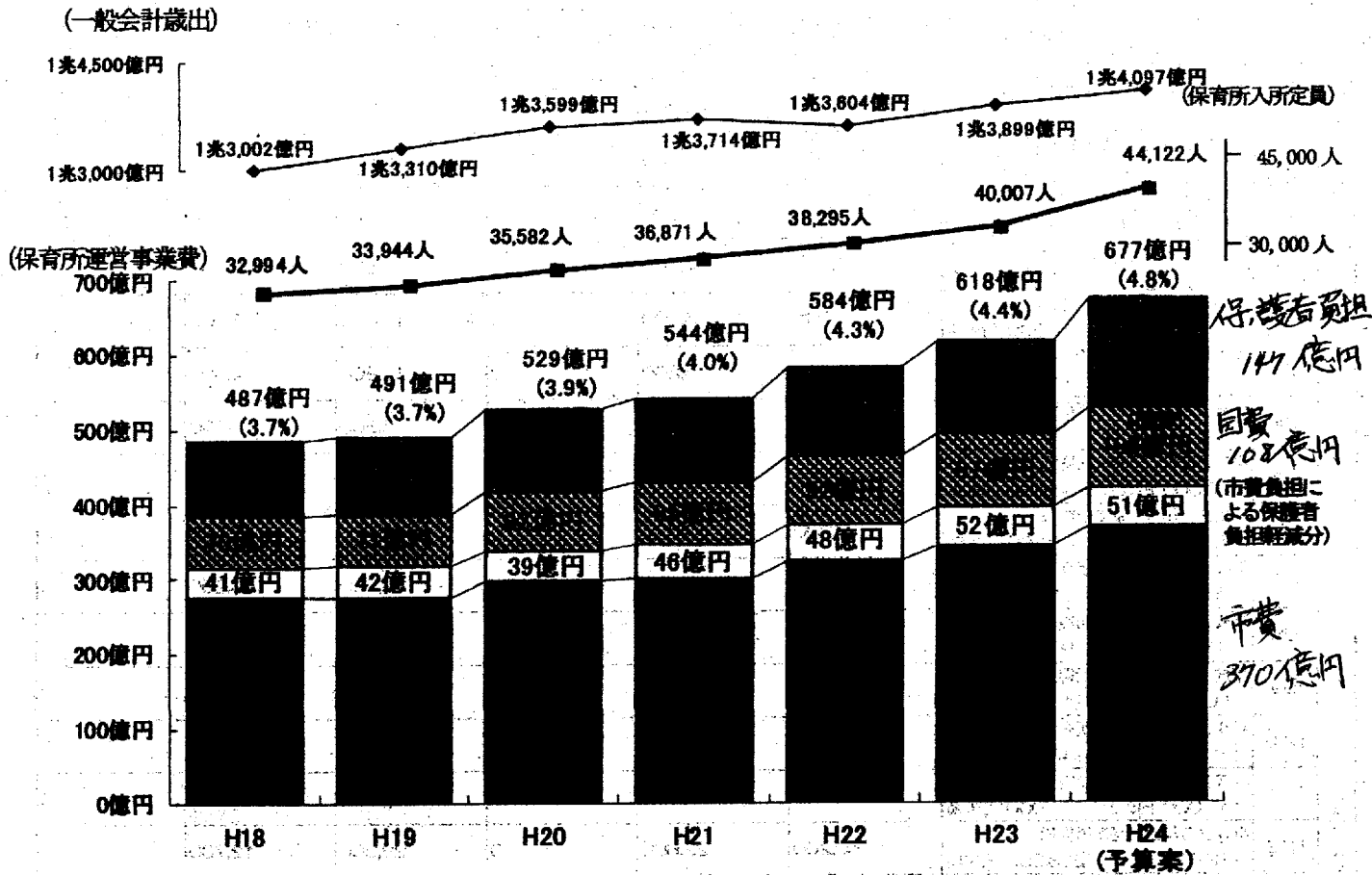


<横浜市の現状>

保育所運営費は年々増加し続けており、本市の一般会計歳出の伸びが概ね横ばいとなっている中で、保育所運営費が一般会計歳出に占める割合は年々増加しています。



横浜市では、

- 保育所の特設児童の解消に向け、保育所を整備し、入所定員を大幅に増やしています。24年度は、46か所が新たに開所し、入所児童数は4,015人分増える見込みです。さらに、25年度の特設児童解消に向け、3,836人の定員増を図るほか、横浜保育室等の整備を進めていきます。
- 市費を投入することで、国基準よりも保育士配置を手厚くするなど充実した保育を実施するとともに、保育料についても国基準よりも保護者の負担を軽減しています。

